

第2回 瑞穂町多摩都市モノレール新駅周辺まちづくり検討委員会

議事要旨

1. 日 時 令和7年8月27日（水）15時00分～16時30分
2. 場 所 瑞穂町役場2階 会議室2-1
3. 議 事
 - (1) 第1回委員会の振り返り
 - (2) ヒアリング（町内事業者等）結果の共有
 - (3) 取組の方向性まとめ
 - (4) 取組実現に向けた課題
 - (5) 事業スキーム（案）
 - (6) 第3回委員会に向けて
 - (7) その他
4. 委員からの主な意見
 - ・ヒアリングについて、地元の声を捉えることができ、取組の方向性をまとめるいい材料となった。
 - ・産業近代化拠点の方向性としては賛同する。
 - ・気候変動に対応する農工連携の新しいビジネスを瑞穂町で生み出すようなコンセプトは、一つの考えとしてある。
 - ・瑞穂町ならではの尖った部分（特色ある部分）を明確化するため、もう少し内容を絞り込む作業が必要。
 - ・尖ったところは必要だが、町の現状とあまりにかけ離れないようにバランスをどうとるか。
 - ・新しい課題に対応する人材育成の場として、高校や大学と連携することも検討しても良いのではないか。

- ・産業近代化拠点として、人が集まり、何かを生むためには、コーディネート的な役割を担う人や組織が必要。
- ・拠点として、単純に産業が立地し、何かが行われるだけではなく、個々に訪れた町民が楽しみ、瑞穂の魅力を感じてもらえるような要素が必要。
- ・農業と工業では分野が違い、またターゲットも違う。瑞穂町の中だけで完結するのではなく、もう少し広域的な視点が必要。